

1 審議会等の名称	第8回三重県観光審議会
2 開催年月日	平成27年9月14日
3 委員	【会長】東京未来大学 教授 石阪督規 ほか9名出席
4 諮問事項	三重県観光振興基本計画（中間案）について
5 調査審議結果	<p>事務局から、三重県観光振興基本計画（中間案）について、説明を行いました。</p> <p>委員から、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値については、積算根拠も大事だが、インパクトも大事。県民にもわかりやすい数値にした方がよい。 ・計画期間の次の4年間は、遷宮と遷宮の間の観光にとっての大変な時期になるが、伊勢志摩サミットの開催や伊勢志摩国立公園70周年、全国菓子大博覧会、インターハイもあり、期待が持てる4年間の計画としてほしい。観光の産業化を進めるには良い時期である。 ・期待しているのはインバウンドである。サミットを機会に外国人旅行者が増加することが予測されるが、予備知識のない外国人には、日本人と同じような情報発信では通じない。外国人に対して、三重県をどう紹介していくべきか考える必要がある。 ・観光の質や観光消費額を高めるには、産業間の連携、人材の育成、高付加価値商品をつくり、着地での情報発信が重要である。 ・観光消費額の向上には、「食」の魅力を活用することは不可欠である。そのため、部局横断的な取組が必要である。 ・産業界全体で人材が不足している。そういった状況の中で、観光に携わる人の地位をどう向上させていくかを考える必要がある。伊勢志摩サミットのバリューを利用し、外国からの人材を確保するといったことも考えられる。 <p>などの意見をいただきました。</p> <p>これらの意見は、次期観光振興基本計画策定に反映させていただきます。</p>
6 備考	